JEMIC.

|測技術セミナー (公社)日本分析化学会と共催 析化学における不確かさ研修プロ

楽しく! 簡単に! わかりやすく!

オンライン参加もOK!

受講者全員に目が届く 少数定員

講義と演習を 繰り返すので 確実に身に着く!

受講者全員に 受講証明書を発行

未経験者でも 簡単に不確かさの計算が できるようになる

複数の講師が対応

質問 しやすい!

受講者一人一人の 理解度を確認しながら 進めるので安心!

社員教育として 活用できる!

難しい数式や 偏微分は 使いません!





問い合わせ先

日本電気計器検定所

「知っておきたい不確かさの評価法 応用編」 「不確かさ評価に必要な統計的手法」 「事例で学ぶ不確かさ:電気編」 「事例で学ぶ不確かさ:温度編」 「ISO/IEC 17025:2017内部監査員研修」

「ISO/JIS Q 10012計測器管理規格の解説と活用」 「質量計の校正と不確かさ評価」 「一次元寸法測定器の校正と不確かさ評価」 「温度測定の基礎」「抵抗温度計の校正」 「熱電対の校正」 「放射温度計基礎講座」など 「熱電対の校正」

確認テストを行い

合格証明書を発行!

能力評価にも

利用できる!

日本電気計器検定所 (JEMIC) セミナー事務局

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-15-7

TEL: 03-3451-1205 / E-Mail: kosyukai-tky@jemic.go.jp

セミナー詳細はこちら https://www.jemic.go.jp/gizyutu/j keisoku.html



標準器・計測器の校正試験については下記へお問い合わせください

https://www.jemic.go.jp/ (JEMIC Q

● JEMIC は、電気、磁気、温湿度、光、時間、長さ、質量、圧力、トルク、力の CSS校正を行っています。

● JEMIC が発行する国際MRA対応JCSS認定シンボル付き校正証明書は、品質システムの国際規格 ISO 9000S、自動車業界の国際的な品質マネジメントシステム規格IATF 16949の要求に対応できます。

JEMICのネットワーク・代表電話

●本社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-7 Tel.03-3451-6760 Fax.03-3451-6910

校正試験実施・窓口

● 中部支社

〒487-0014 愛知県春日井市気噴町 3-5-7 Tel.0568-53-6336 Fax.0568-53-6337

〒531-0077 大阪市北区大淀北1-6-110 Tel.06-6451-2356 Fax.06-6451-2360

●九州支社

〒815-0032 福岡市南区塩原 2-1-40 Tel.092-541-3033 Fax.092-541-3036

●本社

03-3451-1181

●北海道支社

011-668-2437

●東北支社

022-786-5031

● 中部支社

0568-53-6331

●北陸支社

076-248-1257 ● 関西支社

06-6451-2355

● 関西支社京都事業所 075-681-1701

● 中国支社

082-503-1251

●四国支社

0877-33-4040

●九州支社

092-541-3031

● 沖縄支社

098-934-1491

お客さまのニーズに応えるネットワークと、 永年にわたる研究を基盤とする実績。 校正試験のことなら、 JEMICにご相談ください。



JEMICイメージキャラクター 「ミクちゃん」



Sustainability in Every Separation

近年、地球温暖化により世界中で様々な異常気象が発生し、各国政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の達成を掲げています。業務効率化がより一層求められる一方で、分析業務のあるべき姿も大きく変わり始めています。脱炭素社会の実現に向けて、

Smart:多様な働き方によるやりがいと生産性の向上

Eco:環境負荷の低減

を両立するソリューションを提供します。

新しい一体型LCシステムi-Seriesは従来の卓越した性能を継承しながら、安定してご使用頂ける堅牢性と環境負荷低減に寄与する機能を備え、常に信頼性の高い分析結果を提供します。

intelligent

診断・予防・復旧の3機能が分析の堅牢性の維持をサポートし データ信頼性の向上と分析業務効率化の両方を実現



innovative

装置の遠隔操作・モニタリングによりラボ外からでも 分析業務を実施し、ラボ滞在時間を短縮

intuitive

直感的な操作とメンテナンス性、卓越した装置性能で 常に安定した分析を提供



Analytical Intelligenceは、島津製作所が提案する分析機器の新しい概念です。システムやソフトウェアが、熟練者と同じように操作を行い、状態・結果の良し悪しを自動で判断し、ユーザーへのフィードバックやトラブルの解決を行います。また、分析機器に対する知識や経験の差を補完し、データの信頼性を確保します。



詳しい製品情報はこちら

MassWorks Version 7.0

質量分析計の性能を限界まで引き出します

これまでのバージョンで築き上げられた実績をさらに進化させ、 MassWorks™ 7.0 は、取得後のデータ処理に特化した使いやす いソフトウェアパッケージとして登場しました。本製品は、Cerno社 が特許を取得している TrueCal™ 技術を採用し、ユニット質量分 解能の一般的な質量分析計においても、高い質量精度とスペクトル 精度を実現し、CLIPS™ フォーミュラサーチ機能により元素組成 の同定を可能にします。さらに、MassWorks の sCLIPS™ および BestScan™ sCLIPS 機能は、標準物質を使用することなく正確な ピーク形状補正を行うことで、高いスペクトル精度を提供します。

MassWorks は、強力な TrueCal キャリブレーション技術を搭 載しており、ユニット分解能システムにおいて質量精度を最大100 倍向上させることができます。さらに、高分解能およびユニット分 解能の両方のシステムで、最大99.9%のスペクトル精度 (Spectral Accuracy) を実現します。この高速かつ柔軟なMSアプリケーショ ンソフトウェアパッケージは、質量精度とスペクトル精度を組み合 わせることで、あらゆる種類のMSデータ(高分解能・低分解能の両 方) に対し、Cernoの解析手法によって大幅な改善をもたらします。

CLIPS検索により、ユニット分解能のGC及びLC/MS機器 で正確な質量式検索が可能になります。

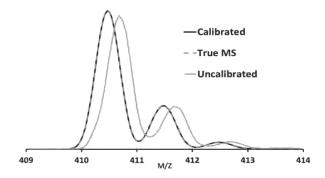
CLIPS (Calibrated Line-shape Isotope Profile Search) は、 比類のない質量精度と最高のスペクトル精度を組み合わせて、四重 極 MS を最大限に活用します。

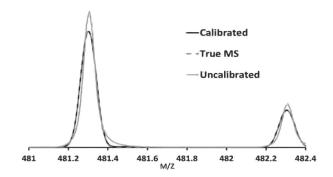
- 質量精度が 0.x Da から 0.00x Da まで 100 倍向上
- クロマトグラフィー時間スケールで 99% を超えるスペクトル精度
- 低分解能の装置でも正確な 化学式ID が可能
- 未分離 MS 信号の強力な混合分析

高分解能MSのsCLIPS検索では、較正化合物を必要とせ ず、化学式IDのスペクトル精度を大幅に向上させます。

sCLIPS (自己較正線形同位体プロファイル検索)を使用すると、高解 像度の TOF、Orbitrap、または FT-ICR を最大限に活用できます。

- 独自の特許取得済みセルフキャリブレーションプロセス
- 数学的に正確な同位体モデリング
- 適切に設計および運用されたシステムで達成可能な 99% 以上 のスペクトル精度
- 化学式ID の質量精度を超える
- 最大 95~99% の誤った式を排除可能
- 未解決の MS 信号による強力な混合物分析





New for MassWorks Version 7

MassWorks バージョン 7 は、処理速度が向上し、安定性も高まった 64 ビット Windows アプリケー ションとして新たに登場しました。更新されたファイルリーダーにより、MassWorks はほとんどの主要べ ンダーのデータを直接読み込むことが可能になり、さらに業界標準の NetCDF 交換形式にも対応しまし た。また、多くの新機能の一つとして、「MassLab™」アプリが追加されました。これらのカスタムアプリ は Python または Matlab により作成でき、たとえば高分子特性評価用の新しい機能「SAMMI™」を MassWorks に追加することができます。SAMMI™ は、従来の四重極アルゴリズムに比べて最大 30 倍 の高精度を実現し、高分解能機器に匹敵する精度を提供します。

cerno



株式会社 エス・ティ・ジャパン

URL: https://www.stjapan.co.jp

東京本社/

大阪支店/

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-14-10 〒540-6127 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー TEL: 03-3666-2561 FAX: 03-3666-2658 TEL: 06-6949-8444 FAX: 06-6449-8445

標準物質の取り扱い専門商社

~各種標準物質 取り扱っております~

各種標準物質(RM, CRM)

PFAS関連(EPA 1633対応など)、RoHS(MCCPs、TBBPA)、REACH規則(PAHs)など取り扱っております。 核燃料関連(ウラン、トリウム、プルトニウム)、環境中放射能標準物質などもございます。

ICP-OES/ICP-MS AAS/IC

- ・無機標準液/オイル標準液
- ・鉄・非鉄各種金属
- 工業製品 (石炭、セメント、セラミックス等)
- 環境物質
- (土壌、水、堆積物、岩石等)
- 乳製品、魚肉、穀物等

固体発光分光分析 蛍光X線/ガス分析

- 鉄・非鉄各種金属
- 工業製品 (石炭、セメント、セラミックス等)
- 環境物質 (土壌、水、堆積物、岩石等)
- (乳製品、魚肉、穀物等)

物理特性/熱特性

- X線回折装置用 Si powder, Si nitride,等
- ・粒度分布計用
- 熱分析用 DSC(In.Pb.等)
- ・粘度測定用
- 膜厚分析用

有機標準物質

- 製薬標準物質 SPEX,LGC,EP,USP, TRC,MOLCAN
- 認証有機煙進液
- ・ダイオキシン類/PCB
- ・有機元素計用標準物質
- Cayman Chemical

Cole-Parmer 社 (旧 SPEX 社) 前処理機 (フリーザーミル・ボールミル)

凍結粉砕機 (Freezer/Mill)

粉砕容器にインパクター(粉砕棒)とサンプルを一緒に入れ、液体窒素にてサンプルを 常時凍結させて運転を開始します。

インパクターを磁化させ、往復運動させる事による衝撃でサンプルを粉砕します。 やわらかいサンプルや熱に弱い生体サンプルに最適です。

〈サンプル例〉プラスチック、ゴム、生体サンプルなど、 〈使用例〉ICP, XRF, GC, LCの前処理 DNA/RNAの抽出の前処理

ボールミル (Mixer/Mill)

SPEX独自の8の字運動により、効率的な粉砕、混合が可能。

サンプルに合った粉砕容器、ボールを選択可能。

〈サンプル例〉岩石、植物、錠剤、合金など

〈使用例〉ICP、XRFの前処理 メカニカルアロイイング





不純物証明&目盛つき容器 50mL Environmental Express社



Environmental Express社製ポリプロピレンチューブの特長

CertiTube

- ・不純物濃度証明書と公差証明書が付属
- ⇒メスアップや保存容器として使用でき容器の移し替えをする作業(手間、時間)を削減できます。
- ・ガラス器具由来の金属コンタミリスクも軽減できます! 110℃の耐熱性があり分解容器としても使用できます。
- ※130℃以上の温度では使用できません。
- ・容器本体とキャップの材質が同じ商品です。
- · Certi Tubeはディスポーサブルで使用可能な価格設定です。

・超高純度UltiTubeは、68元素ppbおよびpptの低濃度が保証され、より低ブランクの測定を実現します。



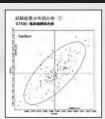
海外技能試験輸入代行サ

技能試験(外部精度管理)とは・・・

技能試験提供機関が提供する未知サンプルを分析することによって、分析者の分析技能を測るテストです。 分析能力に関して中立的な評価が得られ、国内外の参加試験所と分析能力の比較が出来ます。

〈メーカー/サンプル例〉

- ・LGC(ドイツ):環境・食品・飲料・アルコール・微生物・化粧品・製薬・オイル・飼料
- ・CTS(アメリカ):鉄鋼・非鉄・樹脂
- ·iis(オランダ):ポリマー(化学試験)・繊維・化粧品 ·NSI(アメリカ):飲料水・環境・食品・微生物・製薬
- ・NIL (中国): ポリマー (化学試験・物性試験) 鉄鋼原料 ·PTP(フランス): 非鉄関連·航空宇宙関連試験
- TESTVERITAS (フランス):食品・食肉・野菜





YouTubeチャンネル【西進商事公式】

弊社取り扱い製品の情報を公開中です。(順次アップロード予定)



標準物質専門商社

西進商事株式会社

https://www.seishin-syoji.co.jp/

社 〒650-0047 神 戸 市 中 央 区 港 島 南 町 1 丁 目 4 番 地 4 号

TEL.(078)303-3810 FAX.(078)303-3822

東 京 支 店 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目12番地7号(RBM芝パークビル)

TEL (03) 3459-7491 FAX (03) 3459-7499

名古屋営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目2番25号(名古屋ビルディング桜館4階)

TEL (052) 586-4741 FAX (052) 586-4796

北海道営業所 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目10番地(ピア2・1ビル)

TEL.(011)221-2171 FAX.(011)221-2010

Explore with Confidence

マルチチャンネル赤外顕微鏡 IRT-7X は、圧倒的な観察画質の向上と高速化されたリニアアレイ検出器の高次元デジタル処理により、より高速で高精細な赤外イメージングを実現しました。異物解析や材料研究における " 観る・ 測る・解析する"を次の次元へ導きます。

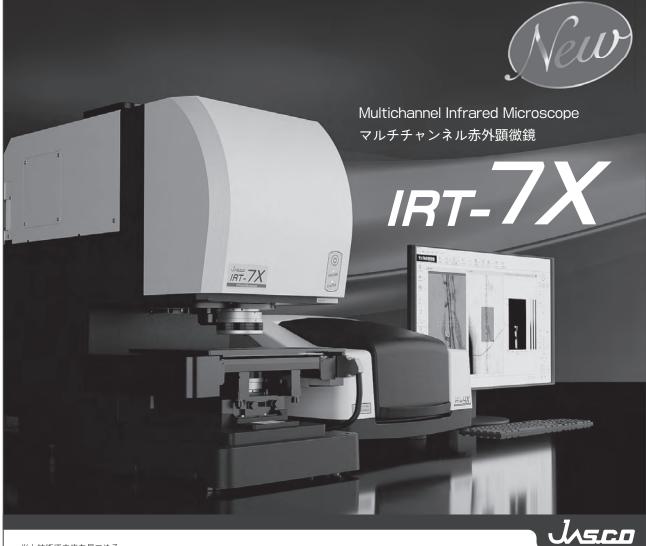
Fast IR Imaging - 高精度なケミカルイメージを高速に -

High Quality Observation - 高品質の観察画像 -

Automation & Usability - 自動化と使いやすさの追求 -

Unique Technique - 日本分光独自のソリューション -

Various Analysis - 多様な解析ツール -



光と技術で未来を見つめる



日本分光株式会社

〒192-8537 東京都八王子市石川町2967-5 TEL 042(646)4111 他 FAX 042(646)4120 日本分光の最新情報はこちらから

https://www.jasco.co.jp



FRONTIER LAB

高分子材料分析の強力な戦力! マルチショット・パイロライザー

EGA/PY-3030D

未知試料へ多面的にアプローチ

発生ガス分析や瞬間熱分析などの組み合わせにより 未知試料を多面的に熱分解GC/MS分析

前処理なしで迅速に分析

あらゆる形態のポリマー試料を煩雑な前処理なしで 簡単・迅速に分析

高性能で高信頼

サーモグラムとパイログラムの高い再現性を保証

豊富な周辺装置

目的に合わせて選べる周辺装置で分析業務をサポート

微量ポリマーの検出感度が大幅向上! スプリットレス熱分解用オプション装置 MFS-2015E

キャピラリーGC分析における中・高沸点領域の ピーク形状を大幅改善!

スマートプレカラム

NEW

試料水中のマイクロプラスチックを簡単に捕集! 捕集から測定までスムーズな操作を実現 Smart 微粒子コレクター

NEW

迅速凍結粉砕装置 IQ MILL-2070

簡単操作!扱いやすい卓上型の粉砕装置

静かな作動音 ··· 周辺での会話が可能(粉砕時の騒音参考値 55 dB)

短時間 & パワフルに粉砕 … 高速上下ねじれ運動による効率的な粉砕

試料に合わせた細かな条件設定 … 粉砕速度/時間/サイクル数の設定 種類豊富な粉砕子と容器

液体窒素消費量が少なく省エネ ··· 液体窒素の最小消費量は約300 mL

DNA抽出用に細胞破砕を効率化する専用モデルもございます









フロンティア・ラボ 株式会社

www.frontier-lab.com/jp info@frontier-lab.com

ポリマー分析用試料キット

ポリマーサンプルキット205

<1セット 100本入・10-20g/1本>

100本の構成ポリマーは汎用性ポリマー試料だけでなくエンプラ試料も含まれておりますのでIR分析等のライブラリーへの収録にご利用いただけるポリマー分析試料キットです。

スペックとして:引火点・平均重量分子量・屈折率・ガラス転移点・融解 温度等の情報がございます。

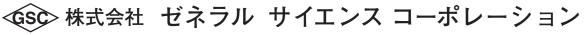
100種類の試料の一部試料については入れ替えも可能です。

詳しくはお問い合わせ下さい。



| Cap No. | Cat No. | Polymer | Cap No. | Cat No. | Polymer |
|----------|---------|---|----------------------|------------|---|
| | 053 | Acrylonitrile/butadiene copolymer - 22% acrylonitrile | 51 | 107 | Polyethylene, chlorosulfonated |
| 2 | 054 | Acrylonitrile/butadiene copolymer - 22% acrylonitrile | 52 | 042 | Polyethylene, low density |
| 3 | 530 | Acrylonitrile/butadiene copolymer - 51% acrylonitrile | 53 | 405 | Polyethylene, oxidized |
| ļ | 209 | Butyl methacrylate/isobutyl methacrylate copolymer | 54 | 491 | Poly(ethylene glycol) |
| 5 | 660 | Cellulose | 55 | 136A | Poly(ethylene oxide) - Approx Mw 100,000 |
| 3 | 083 | Cellulose acetate | 56 | 136E | Poly(ethylene oxide) - Approx Mw 400,000 |
| 7 | 077 | Cellulose acetate butyrate | 57 | 113 | Poly(ethyl methacrylate) |
| 3 | 321 | Cellulose propionate | 58 | 414 | Poly(2-hydroxyethyl methacrylate) - Approx Mw 300,000 |
| 9 | 1078 | Cellulose triacetate | 59 | 815 | Poly(2-hydroxyethyl methacrylate) - Approx Mw 1,000,000 |
| 10 | 459 | Ethyl cellulose - Viscosity 4cp (5% solution @ 25°C) | 60 | 112 | Poly(isobutyl methacrylate) |
| 11 | 464 | Ethyl cellulose - Viscosity 22cp (5% solution @ 25°C) | 61 | 106 | Polyisoprene, chlorinated |
| 12 | 460 | Ethyl cellulose - Viscosity 300cp (5% solution @ 25°C) | 62 | 037B | Poly(methyl methacrylate) - Approx Mw 75,000 |
| 13 | 534 | Ethylene/acrylic acid copolymer - 15% acrylic acid | 63 | 037D | Poly(methyl methacrylate) - Approx Mw 540,000 |
| 14 | 455 | Ethylene/ethyl acrylate copolymer - 18% ethyl acrylate | 64 | 382 | Poly(4-methyl-1-pentene) |
| 15 | 939 | Ethylene/methacrylic acid copolymer - 12% methacrylic acid | 65 | 391 | Poly(p-phenylene ether-sulphone) |
| 6 | 243 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 14% vinyl acetate | 66 | 090 | Poly(phenylene sulfide) |
| 17 | 244 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 18% vinyl acetate | 67 | 130 | Polypropylene, isotactic |
| 8 | 316 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 28% vinyl acetate | 68 | 1024 | Polystyrene, Mw 1,200 |
| 19 | 246 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 33% vinyl acetate | 69 | 039A | Polystyrene - Approx Mw 260,000 |
| 20 | 326 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 40% vinyl acetate Ethylene/vinyl acetate copolymer - 40% vinyl acetate | 70 | 574 | Polystyrene sulfonate, sodium salt |
| 21 | 784 | Ethylene/vinyl acetate copolymer - 45% vinyl acetate Ethylene/vinyl acetate copolymer - 45% vinyl acetate | 71 | 046 | Polysulfone |
| 22 | 959 | Ethylene/vinyl alcohol copolymer - 38% ethylene | 72 | 203 | Poly(tetrafluorobutylene) |
| 23 | 143 | Hydroxyethyl cellulose | 73 | 166 | Poly(2,4,6-tribromostyrene) |
| 24 | 401 | Hydroxypropyl cellulose | 73 74 | 347 | Poly(vinyl acetate) - Approx Mw 150,000 |
| 25 | 423 | Hydroxypropyl methyl cellulose - 10% hydroxypropyl, | 7 4 75 | 1040 | Poly(vinyl acetate) - Approx Mw 500,000 |
| 23 | 423 | | 75 76 | | * |
| 26 | 144 | 30% methoxyl Methyl cellulose | 76 77 | 336 352 | Poly(vinyl alcohol), 88% hydrolyzed Poly(vinyl alcohol), 98% hydrolyzed |
| 27 | 374 | Methyl vinyl ether/maleic acid copolymer - 50/50 copolymer | 78 | 361 | Poly(vinyl alcohol), 99% hydrolyzed |
| 28 | 317 | Methyl vinyl ether/maleic acid copolymer - 50/50 copolymer Methyl vinyl ether/maleic anhydride - 50/50 copolymer | 76 79 | 043 | Poly(vinyl accord), 99 % Hydroryzed Poly(vinyl butyral) |
| 20 29 | 034 | Nylon 6 Poly(caprolactam) | 80 | 038 | Poly(vinyl chloride) |
| 30 | 033 | | 81 | 353 | Poly(vinyl chloride), carboxylated - 1.8% carboxyl |
| | 313 | Nylon 6/6 Poly(hexamethylene adipamide) | 82 | 102 | |
| 31 | | Nylon 6/12 Poly(hexamethylene dodecanediamide) | | | Poly(vinylidene fluoride) |
| 32 | 006 | Nylon 11 Poly(undecanoamide) | 83 | 840 | Poly(4-vinylpyridine), linear |
| 33 | 044 | Nylon 12 [Poly(lauryllactam)] | 84 | 416 | Poly(4-vinylpyridine-co-styrene) |
| 34 | 045A | Phenoxy resin | 85 | 132 | Polyvinylpyrrolidone - Approx Mw 360,000 |
| 35 | 009 | Polyacetal | 86 | 494 | Styrene/acrylonitrile copolymer - 25% acrylonitrile |
| 36 | 001 | Polyacrylamide Polyacrylamide | 87 | 495 | Styrene/acrylonitrile copolymer - 32% acrylonitrile |
| 37 | 1036 | Polyacrylamide, carboxyl modified, high carboxyl content | 88 | 393 | Styrene/allyl alcohol copolymer |
| 38 | 026 | Poly(acrylic acid) - Approx Mw 450,000 | 89 | 057 | Styrene/butadiene copolymer, ABA block |
| 39 | 599 | Poly(acrylic acid) - Approx Mw 4,000,000 | 90 | 595 | Styrene/butyl methacrylate copolymer |
| 10 | 134 | Polyacrylonitrile | 91 | 453 | Styrene/ethylene-butylene copolymer, ABA block |
| 11 | 385 | Polyamide resin | 92 | 1067 | Styrene/isoprene copolymer, ABA block |
| 12 | 128 | Poly(1-butene), isotactic | 93 | 457 | Styrene/maleic anhydride copolymer |
| 13 | 962 | Poly(butylene terephthalate) | 94 | 049 | Styrene/maleic anhydride copolymer - 50/50 copolymer |
| 14 | 111 | Poly(n-butyl methacrylate) | 95 | 068 | Vinyl chloride/vinyl acetate copolymer - 10% vinyl acetate |
| 15 | 1029 | Polycaprolactone | 96 | 063 | Vinyl chloride/vinyl acetate copolymer - 12% vinyl acetate |
| 16 | 954 | Polycarbonate - Approx Mw 36,000 | 97 | 911 | Vinyl chloride/vinyl acetate/hydroxypropyl acrylate - |
| 17 | 035 | Polycarbonate - Approx Mw 45,000 | | | 80% vinyl chloride,5% vinyl acetate |
| 18 | 126 | Poly(2,6-dimethyl-p-phenylene oxide) | 98 | 058 | Vinylidene chloride/vinyl chloride copolymer - |
| 19 | 324 | Poly(4,4'-dipropoxy-2,2'-diphenyl propane fumarate) | | | 5% vinylidene chloride |
| 50 | 558 | Polyethylene | 99 | 369 | n-Vinylpyrrolidone/vinyl acetate copolymer - 60/40 copoly |
| | | | 100 | 021 | Zein, purified |

・ここに記されている他にも数千種類のポリマー試料を取り揃えております。 カタログ・資料ご希望およびお問い合わせ等は下記へご連絡下さい。



〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目11番地8号 TEL.03-5927-8356 (代) FAX.03-5927-8357 ホームページアドレス http://www.shibayama.co.jp e-mail アドレス gsc@shibayama.co.jp

YASUI KIKAI

SINCE 1953

再現性、精度、信頼性。 36年以上の実績と公定法と学術論文。



立体8の字® 秒速粉砕機

マルチビーズショッカー®

Multi-beads Shocker®



MB3000シリーズ

● 卓上型・省スペース ※ 極静音設計 40dB以下

製造発売元 ▼ 安井器械株式会社 本社・工場 〒534-0027 大阪市都島区中野町2-2-8

TEL.06-4801-4831

FAX.06-6353-0217 https://www.yasuikikai.co.jp

E-mail:s@yasuikikai.co.jp

©2025 Yasui Kikai Corporation, all rights reserved.

251007

BAS

光学式酸素モニター





FireSting O2-C 酸素モニター(4ch)

接続するセンサータイプを入れ替えることで、 基本機能の光学式酸素モニタリング測定の他に 光学式温度測定、および (一部機種のみ) pH測定が可能な測定装置です。

- 一台で最大4チャンネル対応。項目の組合せは自由
- 気相および液相での測定に利用できます
- 酸素濃度測定用のセンサーには 通常用と低濃度用があります
- 非接触型など様々なタイプのセンサーをラインナップ

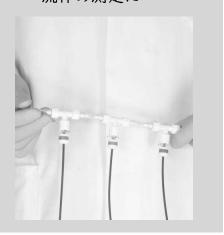
ミニプローブを 溶液に挿して・・・



密閉容器内の酸素濃度や 温度の測定に・・・



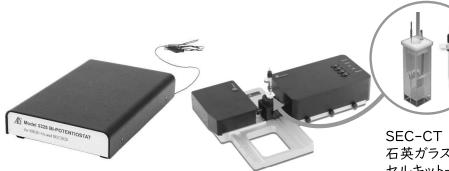
フローセルタイプで 流体の測定に・・・



BAS

分光電気化学システム





モデル3325 バイポテンショスタット

SEC2020 スペクトロメーターシステム 電気化学的な挙動と 分光スペクトル変化を 同時に測定できる システムです。

SEC-CT 石英ガラス製光電気化学 セルキット+参照電極

● 製品の外観、仕様は改良のため予告なく変更される場合があります。

BAS ビー・エー・エス株式会社

光学式センサーをはじめ各種のアクセサリーについては 弊社ホームページでご確認下さい!!

本社 〒131-0033 東京都墨田区向島 1-28-12 東京営業所 TEL: 03-3624-0331 FAX: 03-3624-3387 大阪営業所 TEL: 06-6308-1867 FAX: 06-6308-6890

セミナー講演内容などビー・エー・エス株式会社の最新情報はメールニュースで随時配信しております。配信ご希望の方はお気軽にお問合せ下さい \Rightarrow E-mail: sp2@bas.co.jp

Create The Next Polymer Analysis

JAIの熱分解装置、全9種類。用途に合わせてお選びください。

全機種で試料管とニードルの交換が容易。コンタミのお悩み解消!!

Curie Point Injector JCI-77 for GC, GC/MS



据え付けいらず、 GC/MSを選ばない。

熱分解-GC/MS、 VOC分析で活躍!!



JHP-10 JHP-10+APS-50 JPI-15/07 JHP-2200 NEW!! IHI-08 JHI-08+APC-50 JHI-08+APS-50



キューリーポイントPY



注入します。

+パイロホイルサンプラー



GCのインジェクターへ挿入して

キューリーポイントインジェクター オートサンプラー



熱分解・ 発生ガス分析装置



キューリーポイントPY +抵抗加熱PY



30-IHL +カップサンプラー



+パイロホイルサンプラー

実機でのデモンストレーションさせていただきます。お持ちのGC/GCMSでご評価ください。 デモのご希望は下記までお願いします。なるべく早く対応させていただきます。

| 株式会社 https://www.jai.co.jp/

■本社 · 工場 ■大阪営業所

■名古屋営業所

〒190-1213 東京都西多摩郡瑞穂町武蔵 208 TEL 042-557-2331

〒532-0002 大阪市淀川区東三国 5-13-8-303 TEL 06-6393-8511 〒451-0045 名古屋市西区名駅 2-23-14 VIA141-321 TEL 052-446-6696



製品情報

Industry Co., Ltd.

ぶんせき 11 月号 掲載会社 索引

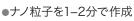
| 【ア行】 | 【ナ行】 | 【ヤ行】 |
|--------------------------|------------------------|---------------------------------------|
| (株)アメナテック・・・・・・・A8 | 日本電気計器検定所・・・・・・・表紙 4 | 安井器械(株)······A4 |
| (株)エス・ティ・ジャパン・・・・・・ 表紙 2 | 日本分光㈱・・・・・・A1 | |
| 【サ行】 | 日本分析工業㈱・・・・・・A10 | 製品紹介ガイド ················· A6~7 |
| (株島津製作所・・・・・・・・・・ 表紙3 | 【八行】 | |
| 西進商事㈱・・・・・・・ カレンダー裏 | ビー・エー・エス(株)・・・・・・ A9 | |
| (株)ゼネラルサイエンス | フリッチュ・ジャパン(株)・・・・・・ A5 | |
| コーポレーション・・・・・・ A3 | フロンティア・ラボ(株)・・・・・・・ A2 | |

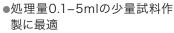
分析試料の前処理作成用粉砕機

FRITSCH GERMANY

FRITSCH

ドイツ フリッチュ社製 ミニミル P-23





- ●重量7kg、寸法20×30×30cm と極めて小型
- ●容器。ボールの材質はジルコニ ア、ステンレス、プラスチック
- ●研究室だけでなく、DCを使って 外部での使用も
- 更に、グローブボックス内での 使用も可能
- ●マイクロチューブにも対応。 Max 2ml×6個

ドイツ フリッチュ社製



遊星型ボールミル Classic Line P-7

- ●Fritsch 伝統の遊星型ボール ミルの小型タイプ
- ●容器のサイズは45ml、または 12ml。2個搭載可能
- ●容器、ボールの材質はメノー、 ジルコニア等7種類
- ポット回転数はMax1,600 rpmの強力パワー
- ●試料作製だけでなく、本機目 的の研究開発用機器としても ご使用いただけます

カタログおよび価格表は弊社にお問い合わせください

フリッチュ・ジャパン株式会社

社 〒231-0023 横浜市中区山下町252 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-2-7 福岡営業所 〒819-0022 福岡市西区福重5-4-2

info@fritsch.co.jp https://www.fritsch.co.jp

Tel (045)641-8550 Fax (045)641-8364 Tel (06)6390-0520 Fax (06)6390-0521 Tel (092)707-6131 Fax (092)707-6131

高周波溶融装置



ビード&フューズサンプラ

高周波誘導加熱を利用した、蛍光 X 線分析用ガラスビードの作成や ICP/AA 分析のアルカリ融解を行う試料前処理装置



オートサンプラ機能付タイプ AT-5300

【高周波誘導加熱】

電気炉とは違い、るつぼ自体が発熱するので加熱効率が良く、短時間で溶融処理ができます。また、コイルに流れる電流値を精度良くコントロールすることで、るつぼの発熱温度を微調整することができるので、試料と融剤が激しく反応して試料が飛散することを抑えることができます。

【主な特徴】

- ・8 種類の溶融レシピを自由に設定 加熱温度・加熱時間・るつぼの揺動回転
- ・色々な材質のるつぼの使用が可能白金・ジルコニウム・ニッケル特殊アダプタをセットするとアルミナるつばも使用可

卓上型タイプ AT-5000



株式会社アメナテック

〒224-0003

神奈川県横浜市都筑区中川中央 2-5-13 メルヴューサガノ 401

TEL: 045-548-6049 e-mail: info@amena.co.jp https://www.amena.co.jp

新規会員募集中!!

日本分析化学会は、研究者・技術者が一体となって組織化 された分析化学分野では世界最大級の学会です。

今後ますますハイテク化していく生活・産業活動を支えるため、 本学会ではその技術力の進歩・発展に活発に貢献しております。 この度、さらに幅広く事業を拡大していくため広く会員拡充を 図ることになりました。

この好機に多数特典のある本会会員への入会をお知り合いにぜひお勧め下さい。

公益社団法人 日本分析化学会 会員係

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

TEL: 03-3490-3351 FAX:03-3490-3572

E-MAIL: memb@jsac.or.jp

ゼオライトにおける超秩序構造と高機能化へ向けた制御の検討

伊與木 健太

1 はじめに

ゼオライトは分子サイズのミクロ孔(< 2 nm)を有する結晶性の無機多孔質材料であり、主としてアルミノケイ酸塩骨格を有する。その特徴を活かして、触媒や吸着材、イオン交換材などとして広く用いられており、分析化学分野においても、種々の充填材や抽出材などとして用いられている。ゼオライトの結晶構造は現在 250種類以上が知られており、各結晶構造は国際ゼオライト学会により定められているアルファベット 3 文字の構造コード(FAU型、MFI型、MOR型など、図1)により表す¹⁾. 結晶構造が同一であってもその骨格の原子組成が異なれば特性が変わり、別のゼオライトとして扱われることも多い。この種類の多さや、様々な表記の存在がわかりにくいかもしれないが、異分野の方にもぜひゼオライトを知っていただきたく、本稿を執筆する次第である。

ゼオライトの合成は主に水熱合成法が用いられるが、その生成過程においては非晶質のアルミノケイ酸塩種が生成し、非古典的な結晶化挙動が見られることが知られている。この非晶質中において、order-in-disorderといえる微細構造が存在することが知られているが、その詳細は研究途上である。一方、結晶化したゼオライトにおいても、骨格中のアルミニウムや骨格外カチオンの位

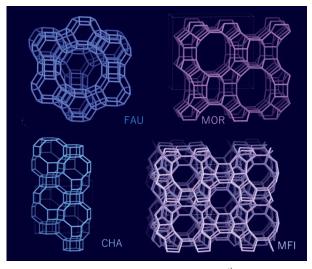


図1 代表的なゼオライト構造1)

置、複数の結晶構造のインターグロースといった disorder-in-order といえる構造が多くある。筆者が参加していた学術変革領域研究(A)「超秩序構造が創造する物性科学」内において、これらを超秩序構造として捉える研究を遂行してきた²⁾. 超秩序構造の制御がなされれば、ゼオライトの精密合成、触媒活性や吸着特性の向上などが可能になると期待されるが、超秩序構造を実際に観測することは容易ではなく、分析化学分野の方とぜひ情報交換を行いながら、発展する技術を積極的に適用していきたいと考えている。

2 ゼオライト中の欠陥制御と超耐久/超疎水性 ゼオライトの創出

ゼオライトの骨格構造は、Si や AI 原子を始めとする 4 配位原子(tetrahedral から T 原子と呼ばれることが 多い)と、O 原子を始めとする 2 配位原子からなっている。様々な欠陥構造が知られているが、ハイシリカ (アルミニウムが比較的少ない) ゼオライトにおいてよく存在していると考えられるものに、T 原子が欠損し、シラノール基が四つ集まったシラノールネストと呼ばれるものがある(図 2)。このシラノール欠陥の存在により、耐久性や疎水性といった性質が影響を受ける。

始めに紹介する研究では、ハイシリカゼオライトを対象として、シラノール欠陥を極限まで低減させ、耐久性を飛躍的に向上させる手法を開発した。これまでにもシラノール欠陥低減の方法としてはシリル化剤の添加や低温スチーミングといった手法がよく知られていたが、細孔容積の低下や欠陥の残存といった課題があった³⁾⁴⁾.これに対して、本研究では、追加のシリル化剤を必要と

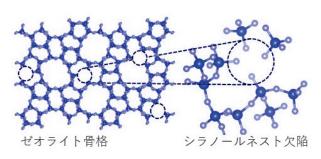


図 2 ゼオライト中のシラノールネスト 青:T原子,灰色:酸素原子,水素原子は省略されている.

ぶんせき 2025 11 3*63*

せず簡便な液相での水熱処理により可能であることを見いだした $^{5)}$. 具体的には、市販されている ZSM-5 ゼオライト(Si/Al=750)を処理溶液に加え、 $40\sim170$ $^{\circ}$ にて $3\sim24$ 時間水熱処理を行った.処理溶液としては、水酸化テトラエチルアンモニウム(TEAOH)とフッ化アンモニウム(NH4F)を用い、TEAOH:NH4F: $H_2O=0-1:0-1.14:15$ (標準条件:0.1:0.1:15)の組成とした.水熱処理を行ったサンプルは洗浄、乾燥し白色粉末を得た.スチーム耐久試験は自作した試験装置を用いて、10 vol $^{\circ}$ 水蒸気雰囲気下、 $^{\circ}$ 3 時間、 $900\sim1150$ $^{\circ}$ にて行ったところ、処理前においては $^{\circ}$ 900 $^{\circ}$ において結晶性を大きく失い非晶質化したのに対して、処理後のサンプルでは $^{\circ}$ 1150 $^{\circ}$ においても高い結晶性と細孔容積を保つことが分かった(図 $^{\circ}$ (2) (2)

非晶質シリカや通常のゼオライトなどの他のシリカ系材料と比較して特異的に高い耐久性を有する材料であると言える。耐久性の向上はシラノール欠陥の低減によると考えられ、29Si MAS NMR スペクトルにおいて、高耐久化したサンプルは欠陥に由来するシグナルが観測されず、検出不可能なほど低減していることが確かめられた。同様に欠陥の低減の様子は FTIR スペクトルにおいても、シラノール基が極端に減少している様子が観察された。また、シラノール欠陥の低減は、耐久性の向上のみならず疎水性の向上にも効果的である。処理前後のサンプルにおいてミクロ孔容積は変化していないが、水の吸着量だけが処理後のサンプルにおいて大きく低下し、極めて疎水性の高いサンプルが得られていることが分かっている(図3(b))。

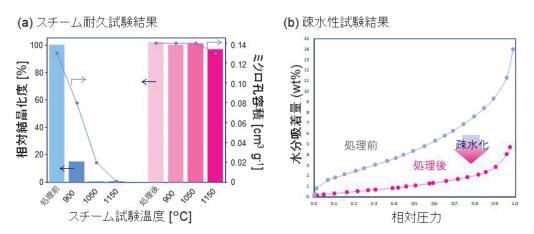


図3 欠陥修復による(a)耐久化と(b)疎水化

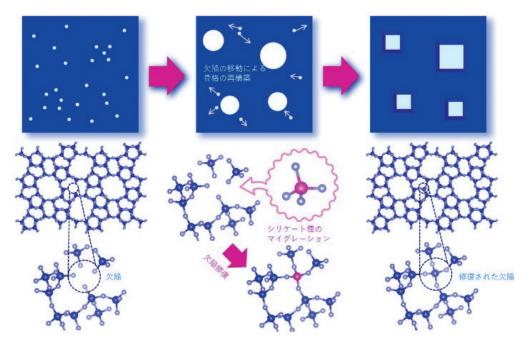


図 4 提案した Self-defect healing メカニズム

364 ぶんせき 2025 11

本処理条件は、高 pH かつフッ化物イオンが存在する 水熱処理条件であることから、ゼオライト骨格を形成し ているシロキサン結合は、容易に開裂と再縮合を繰り返 し、骨格の再構築が起こると考えられる. このとき、細 孔内に TEAOH(もしくは TEA カチオン)が存在する ことにより骨格構造が安定化され("Pore-filler"効果), 崩壊せずに構造を保つことができていると考えられる. 実際に、TEAOH を用いずに NHAF のみを用いて処理し た場合には結晶化度が大きく低下し、NH₄Fを用いずに TEAOH のみを用いて処理した場合にはゼオライトが溶 解することを確認している. ゼオライト合成において は、所望の構造のゼオライトを得るために細孔構造の "鋳型"となる有機構造規定剤(OSDA)を利用するこ とが多いが、処理後のゼオライト中の有機物量は 2 wt % (MFI 型ゼオライトユニットセルあたり 1 分子 に相当)程度であり、通常の合成後に含まれている OSDA による有機物量と比較しても 1/4 程度と少ない. TEAOH は骨格を安定化させながらも細孔を完全には満 たしておらず、シリケート種がゼオライトの細孔内を拡 散することができると考えられる。追加のシリル化剤な しに欠陥を修復するメカニズムについて、"Self-defect healing"として報告している(図4)が、水熱処理中 の結合の形成やシリケート種の移動の様子を直接観察す ることは難しく、さらなる測定技術の発展に期待してい る.

3 小細孔ゼオライトに対する脱アルミニウム

欠陥のみならず、ゼオライトの水熱安定性や疎水性に 寄与する重要なパラメーターとして組成, 特に骨格中の AI 原子の含有量がある. ゼオライト骨格において AI 原 子の周囲の酸素原子は負に帯電しており、これをプロト ンまたは種々のカチオンの正電荷が補償している. 骨格 中の AI 原子は、触媒、吸着、イオン交換などゼオライ トの多様な能力の源泉となっている一方で、Al-O-Si 結合の加水分解が骨格構造崩壊の引き金となるという問 題がある。このため、場合により後処理を行うなどの手 法により AI 原子の含有量を適度に減らすことが高機能 なゼオライトを得る上で必要となる. しかしながら、現 時点で提案されている後処理による AI 量制御が適用で きない系として小細孔ゼオライトがある. 小細孔ゼオラ イトとは、酸素8員環を最大の細孔としてもつゼオラ イトの総称であり、AFX型、CHA型などこれまでに約 50種類の結晶構造が報告されている. 小細孔ゼオライ トの脱 AI を試みた研究としては Ji らによる CHA 型ゼ オライトのスチーミング及び酸処理による脱アルミニウ ム⁶⁾などがあるが、結晶性を保ったまま骨格 AI を除去 するのは困難である. これは、小細孔ゼオライトの小さ な細孔径と骨格外 AI 種のサイズの関係で説明できる. ゼオライトから AI を除去するためには、骨格から AI が

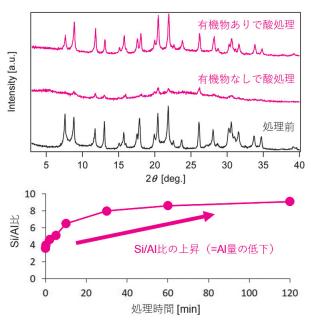


図5 AFX 型ゼオライトに対する酸処理

脱離して生成した骨格外 AI 種(大きさ 4.5 Å以上)がゼオライトの細孔を通り抜け骨格外に溶出する必要がある. 一方, 小細孔ゼオライトの細孔径は 3~4 Å 程度であり, 骨格構造にダメージを与えることなく細孔を通じて AI を除去するのが難しい.

ここで、前項にて紹介した欠陥修復処理における "Pore-filler"効果のコンセプトが活きてくる. 本研究で はこれに着想を得て、ゼオライト細孔中の有機分子の構 造安定化効果を利用しながら脱 AI 処理を行うことを考 えた⁷⁾. ゼオライト合成時には、有機物である OSDA の 周りにアルミノシリケート骨格が組みあがっていき、そ のまま細孔内に取り込まれた OSDA は合成直後のゼオ ライト中にも存在している.本研究では、このOSDA の構造安定化効果を利用しながらゼオライトを酸処理 し、結晶性を保ったまま骨格 AI の除去を行うことにし た. まず、合成後に焼成して OSDA を除去した AFX 型 ゼオライトについて硫酸溶液を用いた酸処理を実施し た. 酸処理はゼオライト 0.5 g を 5 mL の純水に分散し, 5 mL の 1 M 硫酸を加えたのち 80 ℃ で 2 時間攪拌した ところ、XRDパターンにおいて、結晶に由来するピー クの強度が著しく減少し、非晶質に由来するブロードな ピークが観測された (図5, 有機物なしで酸処理). 計 算された相対結晶化度は8%となり大きく低下してい ることがわかる.

このことから、酸処理により AI が骨格から脱離し液相へと溶出する過程でゼオライトの骨格構造が崩壊したことを示している. 続いて焼成を行っていない、すなわち細孔内に OSDA を含んでいる AFX 型ゼオライトの脱アルミニウムを実施した. 2 時間の酸処理後も結晶化度は大きく損なわれず、非晶質や不純物相に由来するピークも見られなかった. 一方、Si/AI 比は 3.6 から 9.1 に上

ぶんせき 2025 11 365

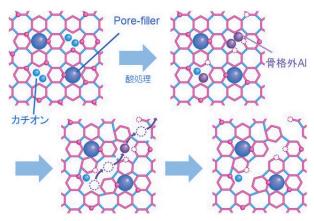


図 6 提唱した細孔拡大移動プロセス

昇し、結晶性を保ったまま脱 AI が進行したことが確認された。この Si/AI 比は直接合成では得ることが困難な組成である。断面 SEM-EDS 画像からは、粒子の外側だけでなく内部からも AI 原子が除去されていることが示された。本研究では考えられるスキームとして細孔拡大移動プロセス(pore-opening migration process, POMP)を提唱した(図 6).

このスキームでは、まず骨格 AI の負電荷を補償していた無機カチオンの一部が溶出し、これに伴い電荷がバランスしていた骨格 AI が骨格から脱離し、骨格外 AI 種となる。この反応は酸処理開始直後の数分間の間に急速に進行する。続いて、骨格外 AI 種は部分的に拡大した細孔を通り抜けて徐々に除去される。そして、最終的にAI 含量の少ないゼオライトが得られる。

4 原子位置の制御へ向けた展開

これまでに述べてきた後処理手法が示唆しているの は、ゼオライト骨格の再構築に伴い超秩序構造が変化し ている可能性である. その可能性を示す興味深い実験結 果として、OSDA フリー法で合成されたハイアルミニウ ムなゼオライトベータへの適用事例⁸⁾がある. ハイシリ カゼオライトに対する欠陥修復処理と同様の条件でハイ アルミニウムゼオライトベータを処理しても、各種の キャラクタリゼーションにおいて大きな変化は見られ ず、同じゼオライトのように見える。しなしながら、処 理後のゼオライトベータに鉄イオンをイオン効果により 導入し、アンモニアを用いた脱硝反応(NH₃-SCR)試験 を行うと、低温活性が有意に向上する. 活性向上の詳し いメカニズムは分かっておらず、投稿論文においても "Unexpected Low Temperature Activity" として発表し たが、活性点である鉄イオンに影響を与える骨格内アル ミニウムの配置が変わっている可能性が考えられてい る.

アルミニウム配置の追跡のために、MOR型ゼオライトを用いて検討を行った⁹. MOR型ゼオライトに対し

て、これまで用いてきた液相法による欠陥修復処理、ス チーム処理、酸処理の後処理を組み合わせて行った. ス チーム処理や酸処理では、骨格からアルミニウムが脱離 する一方, 欠陥修復処理においては骨格外にある6配 位のアルミニウムが4配位となり骨格に挿入されるこ とが見いだされた. このことは本処理が、アルミニウム の脱離と再挿入によって骨格内アルミニウム配置の変化 をもたらしている可能性を示唆するものである. 欠陥と なるシラノール基と、アルミニウムの位置関係について NMR を用いて詳細に分析することでこれらが近接して いる可能性を示した. しかしながら, 不等価な4配位 原子が4種類存在しているMOR型骨格においては、ス ペクトルの重複から、不等価な4配位原子ごとに完全 に分離した解析は困難であることも分かった. 最近, 筆 者らは、不等価なT原子が2種類であるMAZ型ゼオラ イトをさらなるモデル材料として、後処理によるアルミ ニウム原子の移動を追跡した結果を得ている10).

5 おわりに

結晶構造が同一のゼオライトであってもその組成や欠陥の有無,さらには原子の配置といった、disorder-inorder な超秩序構造に由来する差異により応用時の性能が大きく異なってくる。特に最近ではより過酷な反応条件にて働く触媒や、極低濃度の物質を対象とした吸着材など、求められる性能が上がっている。このような中で、超秩序構造の観察や制御の重要性が増している。完全な制御へ向けては多くの検討が必要であるが、様々な分野の方との協業も行いながら貢献していきたい。本研究は、多くの共同研究者のご尽力と、研究費(主として、ERCA JPMEERF20242M01、JST JPMJSC22C5、NEDO JPNP14004)によるご支援によるものであり、ここに謝意を示す。

文 献

- 1) Ch. Baerlocher, Darren Brouwer, Bernd Marler, L. B. McCusker: *Database of Zeolite Structures*, (https://www.iza-structure.org/databases/).
- 2) K. Hayashi (Ed): "Hyperordered Structures in Materials Disorder in Order and Order within Disorder", (2024), (Springer Nature).
- 3) S. Prodinger, M. A. Derewinski, A. Vjunov, S. D. Burton, I. Arslan, J. A. Lercher: *J. Am. Chem. Soc.*, **138**, 4408 (2016).
- 4) J. Shin, N. H. Ahn, M. A. Camblor, S. J. Cho, S. B. Hong: Angew. Chem. Int. Ed., **53**, 8949 (2014).
- 5) K. Iyoki, K. Kikumasa, T. Onishi, Y. Yonezawa, A. Chokkalingam, Y. Yanaba, T. Matsumoto, R. Osuga, S. P. Elangovan, J. N. Kondo, A. Endo, T. Okubo, T. Wakihara: J. Am. Chem. Soc., 142, 3931 (2020).
- 6) Y. Ji, J. Birmingham, M. A. Deimund, S. K. Brand, M. E. Davis: *Microporous Mesoporous Mater.*, **232**, 126 (2016).
- 7) T. Yoshioka, K. Iyoki, Y. Hotta, Y. Kamimura, H. Yamada, Q. Han, T. Kato, C. A. J. Fisher, Z. Liu, R. Ohnishi, Y. Yanaba, K. Ohara, Y. Sasaki, A. Endo, T. Takewaki, T. Sano, T.

366 ぶんせき 2025 11

Okubo, T. Wakihara: Sci. Adv., 8, eabo3093 (2022).

- J. Yu, K. Iyoki, S. P. Elangovan, H. Fujinuma, T. Okubo, T. Wakihara: Chem. Eur. J., e202303177, (2023).
- Y. Fujikawa, T. Yoshioka, K. Iyoki, T. Ohkubo, T. Okubo, T. Wakihara: J. Phys. Chem. C, 128, 9331 (2024).
- 10) Y. Yoshida, K. Yamashita, K. Muraoka, M. Hasumi, R. Osuga, Y. Yanaba, K. Nakajima, A. Nakayama, T. Wakihara, T. Okubo, K. Iyoki: under revision.



伊與木 健太(Iyoki Kenta)

東京大学大学院新領域創成科学研究科 (〒277-8563 千葉県柏市柏の葉 5-1-5). 東京大学大学院工学系研究科化学システム 工学専攻博士課程修了. 博士 (工学). 《現 在の研究テーマ》多孔質材料の合成と応 用.

E-mail: iyoki@edu.k.u-tokyo.ac.jp

日本分析化学会の機関月刊誌『ぶんせき』の再録集 vol. 2 が出版されました! 初学者必見! 正しく分析するための 241 ページです.

本書は書籍化の第二弾として、「入門講座」から分析試料の取り扱いや前処理に関する記事、合計 36 本を再録しました. 『ぶんせき』では、分析化学の初学者から専門家まで幅広い会員に向けて、多くの有用な情報を提供し続けています. これまで掲載された記事には、分析化学諸分野の入門的な概説や分析操作の基礎といった、いつの時代でも必要となる手ほどきや現役の研究者・技術者の実体験など、分析のノウハウが詰まっています.

本書は下記の二章だてとなっています.

〈1章 分析における試料前処理の基礎知識〉—

- 1. 土壌中重金属分析のための前処理法
- 2. 岩石試料の分析のための前処理法
- 3. プラスチック試料の分析のための前処理法
- 4. 金属試料分析のための前処理
- 5. 分析試料としての水産生物の特徴と取り扱い
- 6. 食品分析のための前処理法
- 7. Dried blood spot 法による血液試料の前処理
- 8. 生体試料のための前処理法(液-液抽出)
- 9. 生体試料のための前処理法 (固相抽出)
- 10. 環境水試料の分析のための前処理法

- 11. 大気中揮発性有機化合物分析のための前処理
- 12. 放射性核種分析のための前処理法
- 13. 脂質分析のための前処理法
- 14. 糖鎖分析のための試料前処理15. イムノアッセイのための前処理法
- 16. 加速器質量分析における超高感度核種分析のための試料前 処理法
- 17. 生元素安定同位体比分析のための試料前処理法
- 18. セラミックス試料分析のための前処理法

〈2章 分析試料の正しい取り扱いかた〉-

- 1. 生体(血液)
- 2. 生体 (毛髪)
- 3. 金属(非鉄金属)
- 4. 金属 (鉄鋼)
- 5. 食品(酒類)
- 6. 医薬品 (原薬・中間体・原料)
- 7. 海水 (微量金属)
- 8. 考古資料
- 9. 海底下の試料 (地球深部の堆積物および岩石)

- 10. 岩石
- 11. 食品(農産物の残留農薬)
- 12. ガラス
- 13. 環境 (陸水)
- 14. 温泉付随ガス
- 15. 透過電子顕微鏡観察の試料調整
- 16. 環境 (ダイオキシン類)
- 17. 高分子材料
- 18. 沈降粒子

なお、『ぶんせき』掲載時から数年が経過しているため、記事の中には執筆者の所属も含め、部分的に現在の状況とは 異なる内容を含むものがあるかもしれません。本書では、各記事の『ぶんせき』掲載年を明記することで、再録にともな う本文改稿を割愛しました。これらの点については、執筆者および読者の方々にご了承いただきたく、お願い申し上げます。 本シリーズが化学分析の虎の巻として多くの方に活用されることを願ってやみません。

ぶんせき 2025 11 367